

全国月間火山概況（平成 24 年 5 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火は発生しませんでした。新燃岳の北西数 km の地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給を示す地殻変動は 2012 年 1 月以降ほぼ停滞しています。しかし、現在でも火口やその直下には高温の溶岩が溜まっており、新燃岳直下の火山性地震も続いていることから、突発的な噴火が発生する可能性があります。また、今後、深部からのマグマ供給が再開する可能性もあり、新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば新たな噴火の可能性もあります。新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、昭和火口で爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

硫黄島では、4 月下旬から 5 月初めにかけて火山活動が活発化し、急速な隆起の後に沈降を観測しましたが、その後傾向は鈍化し、現在はほぼ停滞しています。火山性地震は 4 日以降低調になっており、火山性微動も 4 日以降観測されていません。16 日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、島の北東沖で 4 月 29 日に確認された変色水は継続しているものの、当初の広がり比べて狭くなっていることが確認されました。硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、これまでも各所で小規模な噴火が起こっています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、4 月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要です。火口周辺警報（火口周辺危険）と火山現象に関する海上警報が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

6 月 7 日現在の各火山の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 6 月 7 日現在の噴火警戒及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
火口周辺警報及び火山現象に関する海上警報	火口周辺危険	硫黄島
噴火警戒及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島、
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

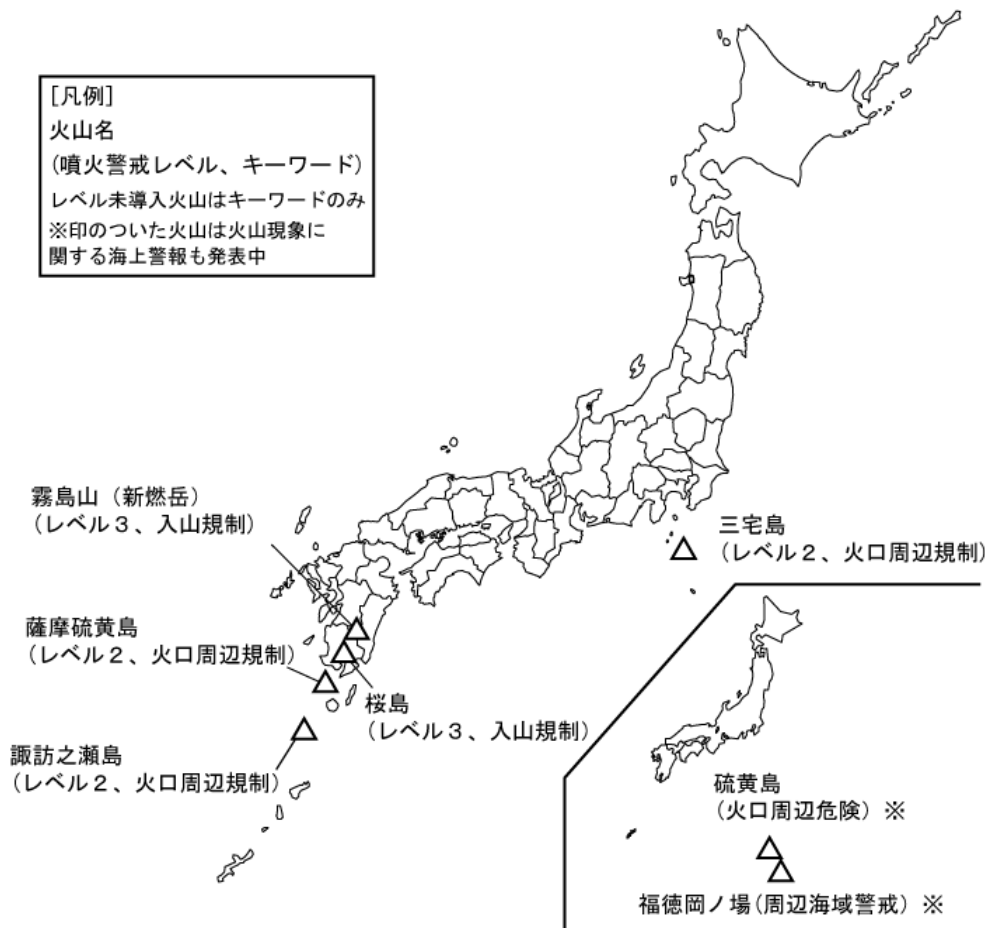


図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

三宅島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上100～300mで経過しました。

17日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は、一日あたり400トン(前月4月9日及び19日、それぞれ700トン、500トン)で、やや少量の火山ガス放出が続いています。三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

火山性地震はやや多い状態です。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

GPS連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。島の南北を挟む基線では、2006年頃から深部の膨張を示す伸びの傾向がみられています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島 【火口周辺警報(火口周辺危険) 及び火山現象に関する海上警報】

4月下旬から5月初めにかけて火山活動が活発化し、国土地理院の地殻変動観測では、急速な隆起の後に沈降を観測しましたが、その後傾向は鈍化し、現在はほぼ停滞しています。火山性地震は4日以降低調になっており、火山性微動も4日以降観測されていません。また、海上保安庁によると、16日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、島の北東沖で4月29日に確認された変色水は継

続しているものの、当初の広がり比べて狭くなっていることが確認されました。

島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、これまでも各所で小規模な噴火が起こっています。2012年2月以降はごく小規模な水蒸気爆発や海底噴火が発生した可能性が考えられる変色水が確認されるなど、硫黄島の火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、4月末に変色水が確認された島の北東沖や新たに噴気を確認された島北部、並びにこれまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部及び南東沖（翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要です。

福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山(新燃岳) [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした(最後の爆発的噴火は2011年3月1日、噴火は2011年9月7日)。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上50mまで上がりました。

火山性地震は月回数82回(4月:356回)と減少しました。震源はこれまでと同様に、新燃岳付近の海拔下0~2km付近に分布しました。火山性微動は今期間観測されませんでした(4月:なし)。

18日に、海上自衛隊第72空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの調査では、前回(3月13日)と比較して、火口内に蓄積された溶岩の大きさ(直径約600m)や形状及び周辺の噴気の状況には変化がありませんでした。白色の噴煙が、主に溶岩の北側及び東側から火口縁上50m上がっていました。また、赤外熱映像装置による観測でも、前回と比較して地表面温度分布に大きな変化はなく、火口内に蓄積された溶岩の縁辺部が比較的高温でした。一方、西側斜面の割れ目では、噴気は確認できませんでしたが、赤外熱映像装置による観測では、前回の調査と同様にやや温度の高い部分が認められました。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は、2011年12月頃から鈍化し、2012年1月以降ほぼ停滞しています。新燃岳周辺のGPS連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

31日に実施した現地調査では、二酸化硫黄は検出できませんでした(4月:一日あたり100トン)。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石(火山れき)が新燃岳火口から10kmを超えて降りました。また、爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は89回(4月:127回)でそのうち爆発的噴火の回数は64回と先月(4月:107回)よりやや減少しました。大きな噴石が3合目(昭和火口から1,300m~1,800m)まで達した爆発的噴火は、4回発生しました。23日14時54分及び24日04時29分の爆発的噴火では、やや多量の噴煙が火口縁上3,500mまで上がりました。噴煙が3,000mまで達したのは2011年4月4日以来です。また、ごく小規模な火砕流が、21日03時42分に発生し、東へ約300m流下しました。火砕流の発生は、3月22日以来です。同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を1~3日に観測しました。

南岳山頂火口では、時々ごく小規模な噴火が発生しました。噴煙の最高高度は、火口縁上400mでした。また、夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を26~31日に観測しました。

火山性地震は、概ね少ない状態で経過しました。月回数は711回(4月:621回)でした。噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は439回(4月:294回)でした。継続時間の月合計は78時間27分で先月(4月:81時間35分)と同程度でした。

7、22日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり2,200~2,800トン(4月:1,800~2,700トン)と引き続き多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計（大隅河川国道事務所設置）では、2011年11月頃から山体がわずかに隆起する傾向が続いていましたが、2012年2月以降、停滞しています。GPS連続観測では、2011年9月頃からわずかな伸びの傾向が続いています。また、国土地理院の地殻変動観測結果によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられます。

鹿児島地方気象台での観測では、20日09時～翌21日09時の24時間に733g/m²の降灰を観測し、月合計としては1,658g/m²（降灰日数13日）の降灰を観測しました。これらは、鹿児島地方気象台が1994年2月に東郡元に移転して以来、降灰量としては最も多いものでした。鹿児島県が実施している降灰の観測データから推定した火山灰の4月の総噴出量は66万トンで、3月（81万トン）よりやや減少しました。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意が必要してください。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

硫黄島山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。白色の噴煙が、最高で火口縁上600mまで上がりました。同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。

火山性地震の月回数は212回（4月：126回）と少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした（4月：1回）。

GPS連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意してください。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした（4月：なし）が、25日、26日、28～30日にごく小規模な噴火が発生しました。噴煙の最高高度は火口縁上600m（4月：300m）でした。同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、25日、28～30日に島内の集落（御岳の南南西約4km）で降灰が確認されました。

火山性地震は少ない状態で経過しました。月回数はA型地震が11回（4月：21回）でした。B型地震は205回（4月：85回）でやや増加しました。5日、25～26日に火山性連続微動が発生し、火山性微動の継続時間の月合計が40時間11分（4月：9時間26分）と増加しました。

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成24年6月7日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）	
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
箱根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）	
伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報 （レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年(2007 年)12 月 1 日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は、平成 23 年 6 月 7 日に活火山として選定され、噴火予報(平常)を発表した。